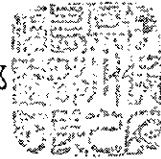


20 川 建 第 273 号

平成 20 年 10 月 16 日

国土交通省道路局長 様

福島県伊達郡川俣町長 古川道郎



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

このことについて、別紙内容のとおり提出いたしますので、よろしく願いいたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

福島県伊達郡川俣町

昨年１２月１３日に発表された政府与党の平成２０年度税制改正大綱で道路特定財源の暫定税率は１０年間延長することが明記され、その後、国会で議論され、結果として「道路の中期計画は５年」と決定されたところであります。

また、政府・与党は平成２０年４月１１日、道路関連の法案や税制の取扱いについて合意し、そのなかで来年度から道路特定財源を一般財源化した上で、「必要な道路整備をする」としています。

川俣町の財政状況をみますと三位一体改革で地方交付税が減額され平成１１年度のピーク時には、約３３億円あったものが平成１９年度には約２２億円まで減少し、仮に暫定税率が廃止となれば、歳入減による影響は甚大で町財政全体に影響し、行財政改革より築いてきた財政基盤を揺るがす大問題でありました。

「地方の道路はもういらない」という議論をされる方がおりますが、地方の現状を無視した暴論であり、地方では必要な道路整備はまだまだあります。

つきましては、以下について強く要望いたします。

- ・国では「真に必要な道路整備は推進する」と言っているが、どのような道路が真に必要な道路なのか具体的に示してほしい。
- ・高規格道路だけでなく大都市と地方との格差を解消し、生活者重視の地方にあった道路整備をしてほしい。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

福島県伊達郡川俣町

○ 現状

当町の道路整備状況は町道総延長 290kmのうち、改良率 45.2%、舗装率 60.5%と未整備区間が多く、車両不通区間もまだまだあります。

毎年地区ごとの町政懇談会を行っておりますが、事項の多くは道路に対する要望であります。

国道 114 号の川俣－福島間は平成 16 年 1 月に懸案であった渡利バイパスが完成し、格段の安全交通が確保されました。

特に冬期は長時間を要した福島への移動が約 40 分となり、効果絶大、町民挙げて感謝しております。

一方同路線の川俣－浪江間は遅延として進まず、国道 349 号線を含む重要幹線についても早急な未改良区間の整備が求められています。

○ 課題

旧市街地と中山間地域を抱える当町にとって、道路は地域の安全な生活、産業の振興、通学、通勤、通院など毎日の生活を支える命綱の役目を担っています。

路線バス廃止による自治体バスの運行に加えて、平成 20 年度から、2 小学校を中心部の学校に統合することによるスクールバスの運行が新たに始まり、スクールバスは現在 6 ルートあります。

安全安心な通学のためにも幅員が狭く急勾配、急カーブの多いこれら道路整備が緊急の課題であります。

さらに、交通安全の観点からは、バイパスの整備が進んだことにより、中心市街地から通過交通が排除され、歩行者にとって安全な道路環境になりつつありますが、冬季の道路凍結や狭隘な道路、歩道の未整備、道路安全施設の不足等の問題が多く残っており、交通安全の確保も緊急の課題であります。

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像

福島県伊達郡川俣町

当町の中心市街地をクロスするように、国道１１４号と国道３４９号が走っております。

国道１１４号は福島県福島市から川俣町を経由し浪江町に至る延長６９kmの主要幹線道路であり、また国道３４９号は茨城県水戸市から川俣町を経由し、宮城県柴田町に至る実延長２６０kmの主要幹線道路で、両路線とも地域の産業、経済、文化の交流促進を担う重要路線であります。

当町では、主要幹線道路である国道のバイパス整備が進められてきたことにより中心市街地への通過交通の流入は大幅に減少したのと同時に、中心市街地から店舗や事業所が消え空洞化が進んでおります

中心市街地の再整備や遊休地を活用した小公園の整備、道路の拡幅、木造老朽住宅の立替えを促進し中心市街地の活性化に努めるのと同時に、緊急時における避難経路を確保する必要があり、道路整備がより重要となっております。

町といたしましては、「第４次川俣町振興計画」や「みんなでつくるまちづくり計画」等に基づき、交通基盤の整備は暮らしの利便性の向上、産業の活性化や社会活動の促進につながる大切な要素となっているとの認識に立って、道路の整備については、自然環境に配慮しながら市街地及び外縁部の環状道路網の整備を推進するとともに、国・県への要望を実施しながら国・県道路の整備促進を図るなど、『快適で潤いのある住み心地よいまちづくり』を行い「人が元気、地域が元気なまち」を目指してまいります。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

福島県伊達郡川俣町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
ありません			